

解答例・採点基準

- ・第1問問1から問5、及び第2問について、文末セミコロン「;」書き忘れ(例: 第1問 [空欄3] `int a[5]`)、ダブルクォーテーション「"」1つのみ書き忘れ(例: 第2問 [空欄3] `fp1, "%s, a`)、シングルクォーテーション「'」1つのみ書き忘れ(例: 第2問 [空欄5] `*p!= '\0`)、コンマ「,」1つのみ書き忘れ(例: 第2問 [空欄8] `fname2 "w"`)の場合、「;」等が入っていれば正解の解答についてのみ積算、全体の点数から以下の減点を行う。

2個まで:減点無し 3-5個:1点減点 6個以上:2点減点

- ・なお、第1問問6については、セミコロン抜け、もしくはセミコロン余分付け足し、については減点対象としない。

その他、個々の配点・正解・減点対象については以下の通り。

第1問

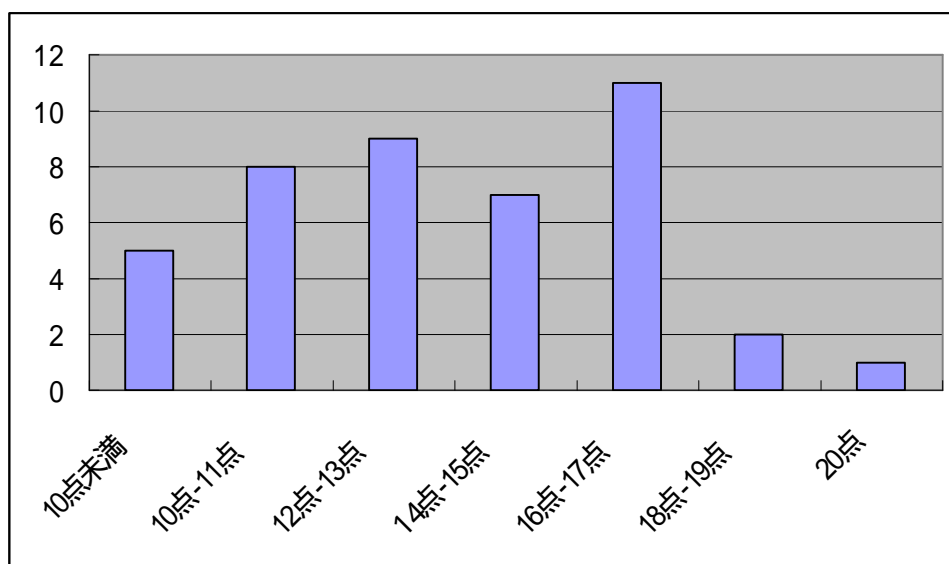
問1(空欄1)2点	time.h	
問2(空欄2)3点	<code>int ans;</code> <code>ans=rand();</code> <code>return ans;</code> また、単に <code>「return rand();」</code> も可。 (以下減点1点): <code>「rand;」</code> として()を忘れているもの、 <code>「ans=(float)rand()/RAND_MAX;」</code> としているもの(0から1の乱数値をint型に変換するため、ほとんどの返り値が0となってしまう)。	
問3(空欄3)1点	<code>int a[5];</code>	
問4(空欄4)1点	<code>a[i]=myrand();</code> また、問題文の主旨からは外れるが、 <code>「a[i]=rand();」</code> も可とする。	
問5(空欄5)1点	<code>a,n</code> また、 <code>「a,5」「&a[0],5」</code> も可。 (以下、不可(0点)の例) <code>「a[],n」</code>	
問6 3点	空欄6-10すべてできて3点。一つ誤りごとに1点減点。配列成分をそのまま書いた答え(例 <code>DATA[i]</code> 等)は0点	
	(空欄6)	<code>*(DATA+i);</code>
	(空欄7)	<code>*(DATA+j)</code>

	(空欄 8)	<code>*(DATA+j)</code>
	(空欄 9)	<code>*(DATA+num2)</code>
	(空欄 10)	<code>*(DATA+num1);</code>
	(空欄 11)	<code>*(DATA+num1)</code>

第2問

問1(空欄1)1点	char *p; なお、「char *a_ptr;」等も可とする、その場合、問5でのポインタ変数が空欄1と同じポインタ変数を使っていることが採点の前提となる。	
問2(空欄2)1点	fname1,"r" また、「"input.txt","r"」も可。	
問3(空欄3)1点	fp1,"%s",a	
問4(空欄4)1点	p=a;	
問5	(空欄5)1点	*p!='\0' または「*p!=0」「*p!=0x00」も可。 バックスラッシュを反対「/(スラッシュ)」に書いたものも一応可。
	(空欄6)1点	*p=='A' または「*p==65」「*p==0x41」も可。
	(空欄7)1点	p++; または、「printf("%c ",*p++);」等も可
問6(空欄8)1点	fname2,"w" また、「output.txt","w"」も可。	
問7(空欄9)1点	fp2,"Aは%d個\n",count	

解答・採点基準ここまで



得点分布(43名受験、平均点 13.3点)